

令和元年第10回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和元年10月24日（木曜日） 午後2時05分から4時20分まで
会議開催の場所	市役所503会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・井上三枝・新堀陽子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 吉野靖彦・教育部参事 秋馬信之・教育総務課長 荻野毅・学校教育課長 野村弘人・学校教育課副参事 松崎努・生涯学習課長 駒井実・武蔵台公民館長 須田幸知
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 菊地誠治
傍聴者数	0人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・議案第34号、第35号、報告第4号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 議案第34号 日高市学校給食センター整備計画の策定について  
原案どおり可決
- 議案第35号 学校給食費の改定について  
原案どおり可決
- 報告第4号 専決処理について  
原案どおり承認

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
- 2) 教育長報告の要旨
  - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
  - その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。
- 3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨
 

【教育長報告関連】

(委員) 武蔵台公民館の多目的ホールにある電動式収納イスとは、どのようなものか。

(武蔵台公民館長) ひだかアリーナのサブアリーナで同様な形式のものがあるが、

普段は壁に収納されていて、使用時にイスが階段状に設営されるものである。

(委員) 200席ということであるが、講演などで利用しているのか。

(武蔵台公民館長) 講演などは、机などが必要なので、本館の会議室を利用することが多い。文化祭の芸能発表などに利用している。

(委員) 多目的ホールの稼働率が突出して多いが、ほかにどのような利用をしているのか。

(武蔵台公民館長) 多目的ホールはイスの収納時には、体育館のように利用できるので、ダンスサークルや卓球などの利用が多数を占めている。

(委員) 武蔵台・横手台の人口推移について、資料によると10年間で1,200人程度の減少がみられる。また、年齢割合のうち14歳以下の年少人口の減少率が加速的に進んでいる。その中で、健康年齢としてはどうか。地区の特徴として坂が多い地形であり、例えば公民館に来る利用者は、徒歩により運動を兼ねているのか、または車の利用が多いのか。

(武蔵台公民館長) 最近では免許を返納される方もおり、徒歩で来られる方も多くなってきたが、車で来館される方もいる。

(委員) 利用される方の年齢構成により、年齢層が高めの方が多いと思われるが、今後、公民館に足が悪く徒歩で行けない方々が利用できるように方法を考える必要があるのではないかと。他地区より坂が多い地区の特性があるので、何らかの対策が必要ではないかと。

(武蔵台公民館長) 現状では、利用者については、リピーターの方が多い。また、横手台地区から武蔵台公民館までは遠距離であり、徒歩での利用が困難であるため、横手台の自治会でデマンド交通を運営しているので、そちらを利用して来館する利用者もいる。

(委員) 年齢が高めの方が多いので、教養部門の講演の人気が高いように思える。

(委員) 今回の台風などでの避難所の話であるが、避難者のご飯持参で避難するというのは、いかがなものか。市としての考え方は。

(教育部長) 非常食については、備蓄があるので対応は出来るが、今回の対応については、避難までの時間に余裕があったため、個人での対応をお願いする旨の案内をしたところである。

(教育長) 日高市については、避難所は早く開設した。

(委員) 雨が降っていると広報塔の放送が聞こえない状況であった。何か対策を考えないと大きな事故につながる。

(教育部長) 土砂災害警戒区域の市民の方には、個別の受信機を配付している。今回は警戒区域の方を対象に避難指示を出していたが、市民の中で、警戒区域に該当か分からずに不安となり避難してきた方もいたようである。

(委員) 英語技能検定について、小学生でも受検出来る子がいると思われる。市の補助であるが、今後、小学校での外国語教科となり、小中一貫教育を進めていく

中で、小学生にも対象を広げる考えはないか。

(教育長) 現状では、中学3年生が受検について補助している。英語検定3級を目標にしているが、中学3年生時にすでに3級を取得している場合は、上位の級を受検することが可能である。補助の回数は中学3年生時の1回となってしまうが、予算的な面もあり現状のとおり進めていきたい。英語検定以外の英語教育について、小中一貫教育を進める中で研究していきたい。

(委員2) 英語検定の日程は毎年同時期か。

(学校教育課副参事) 英語検定協会では決められているが、同時期である。

(委員) 全国学力・学習状況調査の結果について、日高市の状況として考えぬく力が平均的に落ちていると考えられる。読み取れるが意見を言えないという部分があるのではないか。学力向上の方策とつながるが、現在、授業時間について小学校が1コマ45分で中学校が50分となっている中で、教員が子どもたちに教えるにしても時間が少ないため、カリキュラムの中で教えなければならない事柄について、時間配分が難しく、子どもたちが考える時間を与えられないなど満足に教えられない部分もあるのではないか。例えば、2コマ連続で授業を集中的に実施するなどにより、子どもたちの考える時間などが確保できるのではないか。

(教育長) 現在は、教科書のつくりについて、例えば算数など導入場面などで2コマ単位になっている。併せて2コマ続きの授業も実施している。導入部分の基礎的な考え方が出来れば、あとは1コマの授業で対応可能であるという考え方を現場の教員の方に意識してもらうことが重要と考えている。いかに基礎の部分を子どもたちに考えさせて理解をしてもらうことが必要である。

(委員) 読み取る力がないと、進級する上でつまづくことが多くなるのではないか。

(教育長) 考える時間を確保することを重点的に考慮し、工夫をしていきたい。

(委員2) 正答が低い部分について、一部は教科の中で教える時期が最後の部分であるので、授業時間が足りなかった可能性があるのではないか。授業進度の遅れがあったのではないか。

(委員) 分析について、設問ごとの分析をしているが、例えば英語の分析で良好な点として、まとまりのある英語を聞いて必要な情報を理解できているとなっていて一方で、三単現と人称、時制が分からないというのが矛盾している。

(学校教育課副参事) 分析のコメントについては、国から市で受けたものを抜粋している。

(委員) 一つの方法論として、現在、月1回の土曜授業について、月2回にするのは働き方改革の中で困難であるので、週5日の中で最低限のカリキュラムを進めて、土曜日については、カリキュラムにあててではなく不足している部分を強化するなどの日とするなど工夫しても良いのではないか。

(教育長) 教員の働き方改革の中で、工夫できる部分があるかどうか研究したい。

(委員) 正答率など国と比較して、率が上回っているものもあるが、前年比では下がっているところもある。国を上回っているからよしとするのではなく、前年と比べて下がっている要因を良く分析して検証してほしい。

(学校教育課副参事) 分析して検証し、次年度以降につなげていきたい。

(委員) 臨時的任用教員が1年で変わっていく事は、今後、小中一貫教育などもそうであるが、継続性の観点などから学校にとって良いこととは思えない。

(教育長) 複数年の配置を県にもお願いしているが、定められた任用期間での範囲内での配置となってしまう。

**【教育長報告：資料1関連】**

(委員) 高萩北中学校の指導訪問で、協調学習の取り組みが始まっているとのことであるが、協調学習とは具体的にどのようなことか。

(学校教育課副参事) 高麗川で主に実施しているが、子どもたちが4人グループとなり、男女それぞれで座るのではなく、市松模様のように男女を交互に組ませて話し合いだけではなく教え合うなど学び合うことを目的とした取り組みである。また、日高高校で、東京大学の研究グループと校長が知り合いのため、この間研修会を開催したり、授業の仕組みや話し合いなど、効果的に進める手法を研修したところである。

(委員) カリキュラムの細かい部分は分からないが、少なくとも小学5年生以上になったら、専門的な教科の教員に教えてもらった方が効果的ではないか。子どもたちの理解度が上がることにつながると思う。

(教育長) 小中一貫教育を進める中で研究していきたい。

(委員) 事故防止関係で今年度も半分が過ぎたところであるが、新任、ベテラン含めて教員の心身面の様子はどうか。

(学校教育課長) 現在では、特に報告を受けている案件はない。

(委員) 小中学校未来構想について、地域説明会が始まったとあるが、地域への説明も大事であるが、教職員の方々の理解もさらに深めてもらうようお願いしたい。教職員の方も異動があり、一定のメンバーではないが、教育現場の土台が不安定であると、子どもたちや保護者も不安に感じてしまうので、少なくとも教職員の方々については、理解を深めて子どもたちや保護者と対することができるようにしてほしい。

(教育長) ご意見のとおりである。理解を深めるように改めて教職員への説明を重ねるようにしていきたい。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第34号について

**【質疑なし】**

議案第35号について

(委員) 小学校と中学校の値上げについて、月額が小学校3,800円、中学校が4,700

円と差がある中で、同額300円の値上げとすると、値上げ率で考えた場合、小学校の方が、量が少ないのに値上げ幅が大きく感じて不公平感が出るのではないか。(教育総務課長) 計算方法により端数の切り上げの部分が小学校の方が大きい数字となっているため、値上げ率が大きく見えるところである。県内で比較すると、小学校と中学校の差額について、日高市は差が大きい市になる。差を少なくしていきたい部分もある。

(委員2) 値上げは良いが、充実した給食の提供をお願いしたい。

報告第4号について

【非公開のため記載せず】

## 5) その他

### (1) 次回定例会の日程等について

- 11月定例会：11月22日（金曜日）午後1時40分から 委員了承
- 12月定例会：12月19日（木曜日）午後2時00分から 委員了承

### (2) その他連絡事項

令和元年度入間地区教育委員会連合会全体研修会

10月29日（火曜日）【飯能市：ヘリテイジ飯能】

令和元年度入間地区教育委員会連合会視察研修

11月14日（木曜日）【東京都：全生園国立ハンセン病資料館（予定）ほか】

各公民館文化祭

高麗川公民館 10月26・27日（土・日曜日）

高麗・高麗川南・高萩公民館 11月2・3日（土・日曜日）